

# 日高管内における第一次産業での地域材利用事例

日高振興局森林室 普及課 野中俊一

管内は第一次産業が盛んなことから、当普及課では地域関係者との検討や、巡回による普及啓発等を行い、農林水産業における地域材利用の推進に取り組んできました。その結果、地域材利用が促進されてきましたので、近年の主な木材利用事例を紹介します。今後も第一次産業での潜在的な需要を再確認し、地域材利用の推進を図ることとしています。

## 事例1 軽種馬・黒毛和牛産業

管内には多くの軽種馬牧場のほか、黒毛和牛の飼育が盛んです。カラマツ牧柵が受注生産され、特に無味無臭の防腐加工材は競馬場でも使用されるなど利用の場が広がりつつあります。黒毛和牛の敷料としておが粉が、チップやバークも走路や敷料、牧場の暗渠疎水材として活用されています。



門別競馬場牧柵(カラマツ)



和牛用敷料おが粉(トドマツ)



門別競馬場走路(カラマツ)



暗渠疎水材(カラマツ)

## 事例2 水産業

日高沿岸のコンブ小屋は、プレハブが主流となっていましたが、住宅見学会等の地域材利用推進により、地産スギ・トドマツ板材を使った下見板張りのコンブ小屋が復活してきました。スギ材を使用した施主からは「腐れに強く、赤みのある材色が新鮮で良い」と評判で、車庫や物置にも波及しています。



様似産素材(スギ)



コンブ小屋(スギ)



物置(スギ)



魚箱(トドマツ)

## 事例3 エゾシカ被害対策

管内では、エゾシカによる農林業被害が深刻な問題となっています。その被害対策として地域の森林組合では、トドマツやカラマツ間伐材を杭材に加工し侵入防止柵を設置しています。このように地域で間伐し搬出された地域材が利用されています。



搬出を待つ間伐材(カラマツ)



間伐材を加工した杭(カラマツ)



侵入防止柵(カラマツ)



侵入防止柵(トドマツ)

## 今後の課題と展開

- ・一次産業での木材需要把握
- ・資材の安定供給
- ・地域材利用のPR不足



- ・巡回指導による更なる木材需要の把握
- ・適正な需要供給体制の確立
- ・地域材利用事例パンフレットを作成し地域材利用を推進